

## ● 定期的なメンテナンスの必要性 ●

東京光音電波製PROFADERは分解清掃によるメンテナンスを推奨しております。ご使用により埃や汚れが抵抗面等に付着して溜まる事で動作の鈍化やガリ、ノイズ等の音声信号の障害要因になる事がございます。これは使用上避けられない事象で製品の不具合とは異なります。その場合、最も推奨している事は製品をご返却頂き、弊社にて清掃処置(有償作業)を行う事でございます。また、お客様ご自身での処置を希望される場合は、弊社販売の専用清掃キット(本マニュアル参照)をご使用頂き抵抗面やしゅう動部分、接点等の清掃を定期的に行う方法がございます。

その他、清掃以外で上記の現象の予防処置として月1回程度、製品の上げきり、下げきり動作を数回行う方法もございます。これは抵抗体の一定の場所に溜まりがちな汚れをある程度、弾く効果があります。但し、あくまでこの処置は簡易的なものであり、基本的には年1回程度の分解清掃によるメンテナンスを推奨致します。

MOTOR FADERについてはモーター等の駆動部分と機種によっては制御基板がついておりますので、動作調整とチェックのためご返却によるメンテナンスを推奨致します。

尚、個々の製品において使用頻度等条件が異なる事で埃や汚れの溜まり具合の違いから期間を一律に適用できない事もあり、短時間で障害が生じる場合もあります。メンテナンスについては限界がございますので、その点につきまして予めご理解の程、お願い申し上げます。

### [注意]

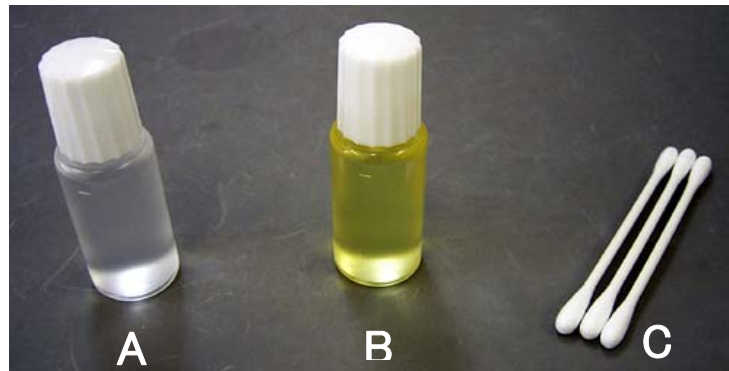
本マニュアルはお客様における応急処置としてのクリーニングマニュアルです。そのためお客様において上記、清掃時の破損等トラブル、清掃後の不具合等が発生した場合、弊社保証の対象外となります。対象製品(次項参照)以外に用いた場合や、他社の溶剤を用いた場合も弊社保証の対象外となります。予めご了承下さい。

作業等でご不明な点は弊社にご相談下さい。



本マニュアルが対象とする製品は下記の5種類です。

<u>対象製品</u>	
<u>MANUAL FADER</u>	
CPA-6000	Series
CPA-7000	Series
CPA-9000	Series
<u>MOTOR FADER</u>	
MF-914	



メンテナンスに用いる3種類の弊社指定品です。

- A. エタノール = エチルアルコール
- B. オイル = TKD-#610
- C. 綿棒(市販品可、紙軸のものが望ましい)

**[注意]**先端が清潔な状態でない場合に拭くとノイズの原因になります。  
FADERのクリーニングには弊社指定による上記のものをご使用下さい。  
指定以外のものを使用した場合、清掃前よりも状態が悪化する恐れがあります。

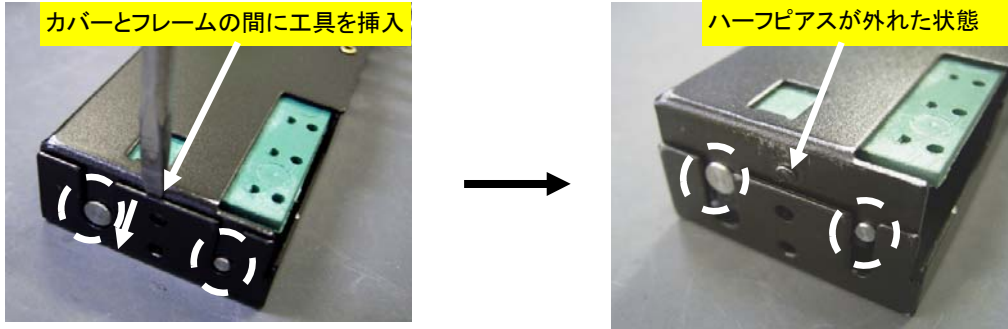
A.エタノール、 B.オイルにつきましては、弊社にお問い合わせ下さい。  
(メンテナンスキット 販売しております)

<u>お問い合わせ先</u>	
東京光音電波株式会社 営業部	
TEL 045-470-9341 FAX 045-470-9347	
E-mail <a href="mailto:sales4@ko-on.co.jp">sales4@ko-on.co.jp</a>	

## 手順

### 1. カバーの外し方

カバーとフレームの間に、ピンセットまたは小型マイナスドライバー等の工具を挿入。「てこの原理」で押し上げ、フレームのハーフピースからカバーを外します。

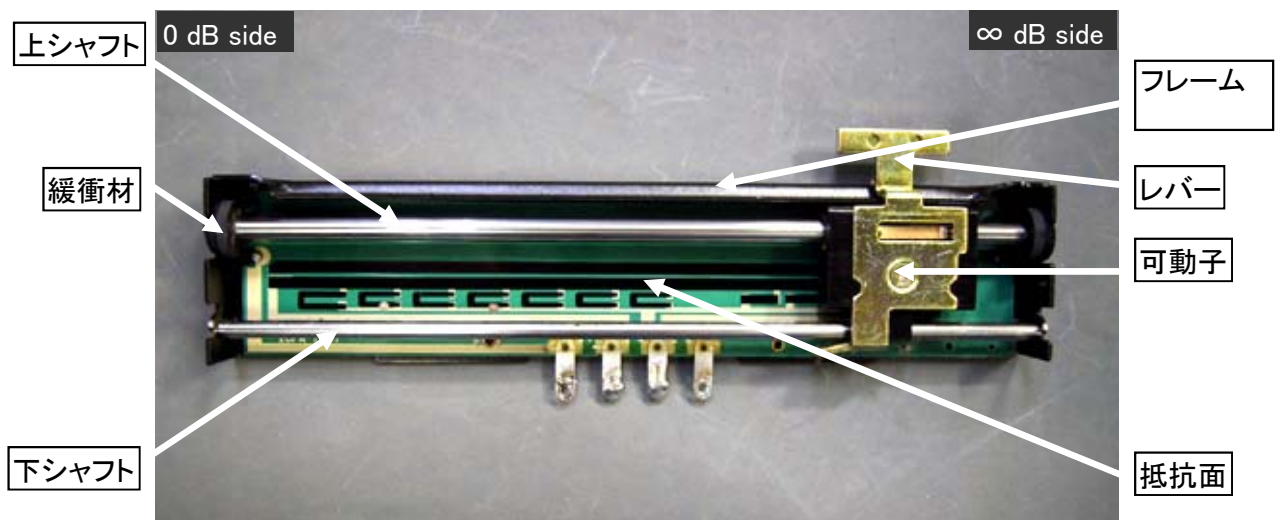


MOTOR FADER「MF-914」は、カバーのネジを外した後、上記の作業になります。

### 2. シャフト及びFADER内部清掃

A.エタノールを適量含ませた綿棒で上下シャフト(両端、緩衝材裏側)、フレーム防塵部分、およびFADER内部に溜まった汚れ、ホコリ等をきれいに拭取ります。

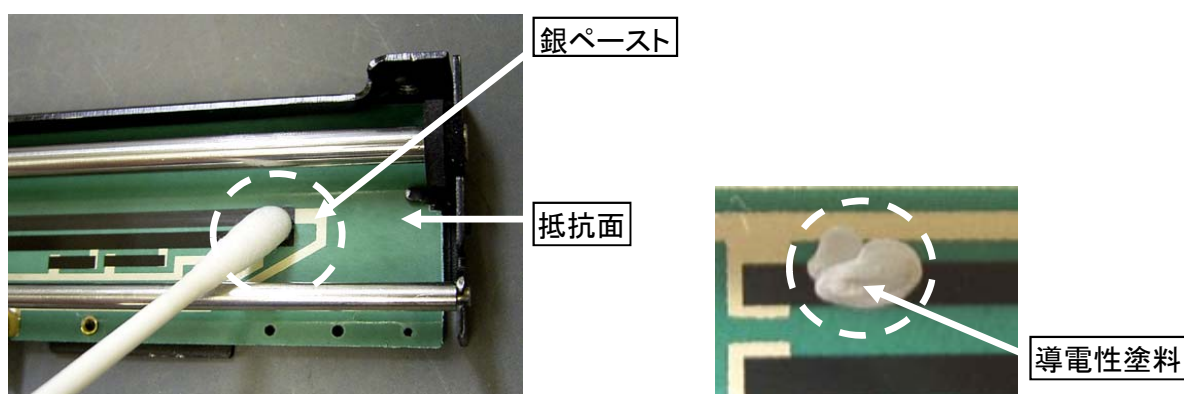
**[注意]** C.綿棒からA.エタノールが滴らない程度が適量です。滴る程の量がかえって逆効果になります。



### 3. 抵抗面の清掃

①A.エタノールを含ませたC.綿棒で抵抗面に付着した汚れをきれいに拭取ります。  
FADERは特に抵抗面の両端部分に汚れが溜まりやすいのため、注意深く清掃して下さい。

**[注意]** C.綿棒からA.エタノールが滴らない程度が適量です。滴る程の量はかえって逆効果になります。  
片先への付着を避けるためA.エタノールが乾く前にレバー及び可動子を動かさないで下さい。  
清掃部分は抵抗面だけで、銀パターンまでは必要ありません。



**[注意]**  
抵抗面の黒い部分(カーボン)にキズをつけないようにして下さい。キズがつくとノイズが発生し、商品として使用できなくなる可能性があります。

**[注意]**  
導電性塗料を拭取らないようご注意ください。  
※オーディオカーブの製品は、減衰特性を調整する目的で塗布してあります。

②抵抗面清掃後、FADER単体の状態で端子部分(1-2端子間、2-3端子間)の残留抵抗値を測定して、残留抵抗値が50Ω未満であることを確認して下さい。

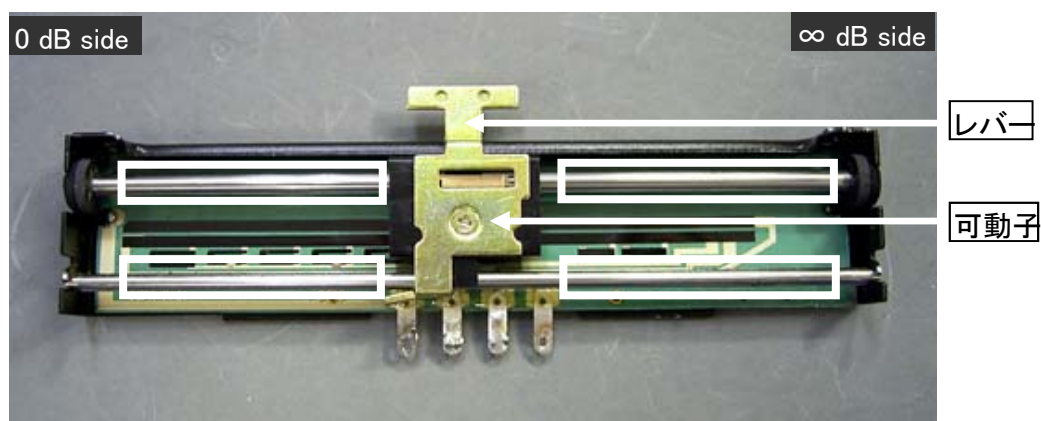
**[注意]** 清掃しても残留抵抗値が50Ω以上の場合、FADER清掃しても製品が改善されない可能性があるため、その場合は新規FADERをご購入される事を推奨致します。

FADERと制御基板がコネクタ接続ではなく、ハンダで接続されている場合は制御基板側のハンダ接続を外すようにして下さい。

#### 4. シャフトにB.オイル塗布

- ①C.綿棒にB.オイルを適量染み込ませます。
- ②レバー及び可動子を中央にして、綿棒で上下シャフト全体に薄く塗布します。
- ③レバー及び可動子を動かしB.オイルを馴染ませます。

**[注意]**抵抗基板にB.オイルが付着しないようにして下さい。また、つけ過ぎると液垂れの原因になります。また、緩衝材にもオイルが付着しないようにして下さい。跳ねや貼り付きの原因になります。



#### 5. カバーの取付方法

- ①カバーの片側を任意の力Fで内側に傾けます。  
※垂直から約1度、内側に軽く傾ける程度。



- ②両端のフレームのハーフピアスにカバーの穴を合わせます。



きちんと合致したことを確認。  
清掃完了となります。

※MOTOR FADER「MF-914」はネジを締めて清掃完了です。